



沢田正己議員

### 湾岸道路新設を

### 現状では困難

**問** 平成11年度に国道9号線から御崎漁港までの道路が整備された。その後、逢坂港まで整備されるよう、鳥取県に要望してきたが、検討中というだけで、いまだ見通しがついていない。この道路は、二つの港を結ぶ重要な道路であり、水産業振興のためにも、町民の

生活道路としても不可欠なものと思われる。また、現在では港内は、テトラポットの中のゴミが堆積してヘドロと化し、稚魚を放流しても育たず、港に堆積したヘドロの除去もできない環境にある。きれいな海を取り戻して、育てる漁業を推し進めていくためにも、この道路の新設はできないか。

### 答

(山口町長) 御崎漁港から逢坂港ま

での道路の要望は、旧中山町時代から合併後の現在まで、毎年度公共土木事業要望箇所として要望してきているが、事業採択にはいたっていない。水産振興、漁業関係者の利便を図るうえでの必要性は、

認識している。ただ道路延長、橋架の新設に係る事業費は、相当なものになると思われる。県としても財政状況の厳しいなかであり、緊急等を検討した場合、現状での事業採択は困難であるとの回答であるが、引き続き要望活動を進めていく。



御崎漁港



吉原美智恵議員

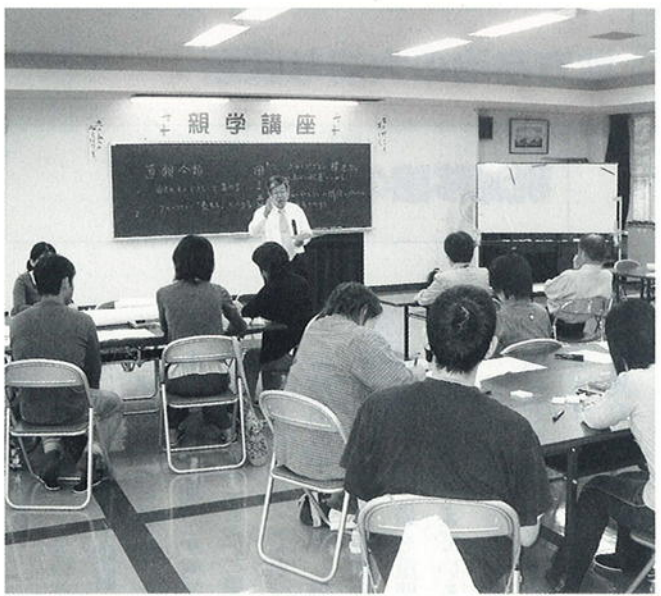
### 教育の現状とビジョンは

### 総合的な子育てシステムの定着

### 問

先般、大山町教育審議会が開かれ、中間報告が発表された。その中で、様々な現状と課題が提言された。そのことを踏まえながら、大山町子ども教育の現状と10年後のビジョンをどのように描こうとしているのか。

また、「義務教育の中に大人の学習の場を設けて



親学講座

### 答

(山田教育長)

はどうか」という提言があった。子どもにとって良い刺激となり、世代間交流もできるのではないか。検討中の統合問題の中で、所子・高麗保育所の現状は、老朽化と定員オーバーの問題が深刻化している。緊急を要するのではないか。

また、「幼児教育課に社会教育・図書館主事、栄養士等を配置し、総合的な子育てのシステムを定着させようとしている。義務教育の大人の参加の場という発想は、全国ではあまり例がないが、十分視野に入れ検討している。所子・高麗保育所問題は、どうあるべきかというところを一番多く協議している。今後、いくつかの案を出していく。